

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年9月号）

令和3年9月1日

残暑お見舞い申し上げます。今月の活動予定のご案内です。

9月12日（日）09:00～10:30 南口電停脇花壇「みんなの庭」の手入れをいたします。

10月は17日（日）、11月は14日（日）を予定しています。

.....

○トピックス：

— 8月は共同活動を休止いたしましたが、勝手ボランティアで水遣り・草引きなどを細々と続けました。南口の「みんなの庭」も猛暑を何とかしのいでいます。

駅南北のロータリー周辺や北口駐輪場周りが夏草ぼうぼうですが、高知市（都市整備公社）の手で刈り取りを行う予定と伺っています。

— 南口に植わっていたヤシの木の枯死の原因は「おそらく地下水位上昇による根腐れではないか」が高知市みどり課の見立てです。南国らしい景観をということでヤシを植えたそうですが、「土壤に合わないとすれば代替りの樹種を検討しなければ」とのこと。センダンなどいいかも。

— 「みんなの庭」の花だより＝下の写真 をお届けします。



8月某日夜明け前撮影



「心あてに それかとぞ見る 白露の 光そへたる 夕顔の花」 こちらはまるで生け花のような造形
(陋屋の女主人が門外で佇む光源氏に贈った歌＝源氏物語第四帖)

.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp
ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店 「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

緑のまちづくりを考える（51）

「いのち」2題

1. いのちの森づくり

「森の中の高知駅」の導き役でもあった植物生態学者宮脇昭さんが、今年7月に93年の生涯を閉じました。環境破壊と公害が深刻化していた昭和40年代から、「木を植えよう、森をつくろう」と訴え、日本国内だけでなく南米、東南アジア、中国など世界中で「いのちの森づくり」（自伝のタイトル）に励んで、「4千万本の木を植えた男」と言われました。大震災の被災地東北地方沿岸に「森の防潮堤」を作る運動でも大きな役割を果たしました。ご冥福を祈ります。



「森の防潮堤」の一部（同協会ホームページより）



2. 木は友達

木は自分で 動きまわることができない
神さまに与えられたその場所で
精一杯 枝をはり
許された高さまで
一生懸命 伸びようとしている
そんな木を
私は友達のように思っている
（星野富弘詩画集「四季抄 風の旅」1982 より）



都内小学生の作品「俺もいるんだ！」
（「お知らせ」平成30年6月号掲載画）

この詩の作者は、大学を出て念願の体育教師になったばかりの1970年に、授業中の事故で脊髄を損傷、四肢の自由を奪われました。心もどん底に落ち込んでいた若者を救ったのは、「口で筆をくわえたら字らしきものが書けるかも」という母親の気づきでした。光明をもらった彼は練習に練習を重ねて、詩を作り、写生もできるようになったのです。

いのちへの感動とやさしさを伝える星野さんの詩と画は多くの人々を勇気づけ、郷里（群馬県みどり市）には自然に囲まれた立派な美術館も出来ています。

おわり